

癌性胸水合併非扁平非小細胞肺癌に対する初回治療としての Pembrolizumab 単剤および免疫チェックポイント阻害薬/プラチナ併用化学療法の有効性の多施設後ろ向き観察研究

1. 研究の対象

以下のすべての条件を満たす患者様。

- ▶ 臨床病期 IV 期又は手術や放射線治療の根治的治療後に再発した非扁平上皮非小細胞肺癌の方
- ▶ 癌性胸水を合併している方
- ▶ 2017 年 3 月 1 日から 2020 年 9 月 30 日までに 1 次治療として、ペムブロリズマブ単剤療法もしくは免疫チェックポイント阻害薬/プラチナ併用化学療法が投与開始された方
- ▶ 免疫チェックポイント阻害薬の前治療歴が無い方

2. 研究目的・方法

この研究では、実臨床における、癌性胸水合併非扁平非小細胞肺癌に対する初回治療としてのペムブロリズマブ単剤療法および免疫チェックポイント阻害薬/プラチナ併用化学療法の治療効果を検討することを目的とします。

当院では診療記録から必要な情報を研究事務局へ提供します。この研究のために、患者さんに追加の検査やアンケート等をお願いすることはありません。また、提供の際には、個人が特定される情報は削除し、データにはセキュリティ対策を施します。

3. 実施期間

2021 年 1 月 15 日～2024 年 3 月

4. 研究に用いる試料・情報の種類

性別、年齢、PS、Stage（第 8 版）、組織型、EGFR 変異の有無（変異の種類）、ALK 転座の有無、治療開始日、血液データ、身長・体重などの患者背景と、治療効果判定と、後治療など。

5. 研究の実施体制

- ▶ 研究代表者
河内 勇人 大阪国際がんセンター 呼吸器内科
- ▶ 研究事務局
田宮 基裕 大阪国際がんセンター 呼吸器内科
- ▶ 研究参加施設と研究責任者
藤本 大智 和歌山県立医科大学 呼吸器内科・腫瘍内科
坂田 能彦 済生会熊本病院 呼吸器内科
金津 正樹 独立行政法人国立病院機構大阪刀根山医療センター 呼吸器腫瘍内科
谷口 善彦 独立行政法人国立病院機構近畿中央呼吸器センター 内科
岩澤 俊一郎 千葉大学医学部附属病院 呼吸器内科
神戸 寛史 神戸市立医療センター中央市民病院 呼吸器内科
宮内 栄作 東北大病院 呼吸器内科

原 聡志	市立伊丹病院 呼吸器内科
岡田 あすか	済生会吹田病院 呼吸器内科
植松 慎矢	大阪赤十字病院 呼吸器内科
田中 智	大阪急性期総合医療センター 呼吸器内科
鈴木 秀和	大阪はびきの医療センター 肺腫瘍内科
荒井 大輔	済生会宇都宮病院 呼吸器内科
大矢 由子	愛知県がんセンター病院 呼吸器内科部
横山 俊秀	倉敷中央病院 呼吸器内科

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、診療情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および 研究への利用を拒否する場合の 連絡先	済生会熊本病院 呼吸器内科 研究責任者 坂田能彦 (住所)熊本市南区近見5丁目3番1号 (電話番号) 096-351-8000 (病院代表)
---------------------------------	--

以上